

平成 26 年度 JaLC 運営委員会（第 2 回）議事要旨

開催要旨

日 時 : 平成 26 年 7 月 28 日 (月) 10:00~12:00
場 所 : 独立行政法人科学技術振興機構 東京本部 2 階会議室 1
出 席 者 : (敬称略)
国立情報学研究所 武田英明 (委員長)
独立行政法人科学技術振興機構 水野充 (副委員長)
国立国会図書館 原田久義 (委員)
独立行政法人物質・材料研究機構 谷藤幹子 (委員)
科学技術振興機構 中島律子、加藤齊史、余頃祐介 (事務局)

議 事 概 要 : 1. ジャパンリンクセンターの基本方針<審議>
2. 研究データへの DOI 登録実験プロジェクト<審議>
3. ジャパンリンクセンター関係者との対話・共創の場<審議>
4. CrossRef との合同ワークショップ<審議>
5. ジャパンリンクセンター正会員入会審査<審議>
6. その他

議事概要

1. 「ジャパンリンクセンターの基本方針」について審議を行った。

- ・ 基本方針となる「ジャパンリンクセンターとは何か」は、今後適宜改定していくこととする。
- ・ 原理的にはどのようなデジタルコンテンツにも DOI を登録できるが、JaLC の DOI 登録対象は学術コンテンツである。日本の科学技術・学術コンテンツへの DOI 登録をすすめるためにはどうしたらよいか、学術の範囲でルールを決める。
- ・ 「方針が何か」と「ルールの範囲で何にでも DOI をつけられる」というのが重要である。「JaLC が日本独自の DOI をふる」ということを明確にする。
- ・ 委員会の議論を受けて事務局が修正し委員にメールにて展開、内容が決定次第 JaLC ホームページに掲載することとする。

2. 「研究データへの DOI 登録実験プロジェクト」について審議を行った。

- ・ 本プロジェクトのリーダーは武田英明 JaLC 運営委員会委員長が務めることとなった。サブリーダーは参加機関の中から決定する。
- ・ プロジェクト参加機関の覚書締結者について、実験時は簡易（各プロジェクトリーダーなど）で可能だが、会員入会時には入会機関の意思が必要なことを事前に参加機関へ予告することとする。

- ・ 本プロジェクトに使う研究データは公開データでなくてもよい。
- ・ 検討課題に「DOI のランディングページの要件の検討」を追加する。
- ・ 本プロジェクト prefix は、まず DataCite の prefix を使用することを前提とする。ただし DataCite の基準に合わないケースが出てきた場合、JaLC の prefix を使用する。本件は、ニーズがあれば検討課題として「DataCite の DOI ではないデータ DOI」を追加する。
- ・ DataCite へのデータ登録は任意であり義務ではない。

3. 「ジャパンリンクセンター関係者との対話・共創の場」について審議を行った。

- ・ 関係者の定義があいまいなため、タイトルを「ジャパンリンクセンター活用の為の対話・共創の場（第1回）～機関リポジトリのコンテンツへの DOI 登録～」とする。また、対話・共創の場自体は継続的に開催するという意味を込め、タイトルに開催回次（今回は第1回）を入れる。
- ・ お知らせの Web チラシ（pdf）を JaLC ホームページへ掲載することとする。

4. 「CrossRef との合同ワークショップ」について審議を行った。

- ・ 11 月に開催される図書館総合展にて、CrossRef との合同ワークショップを開催することが了承された。タイトルを「識別子ワークショップ」、副題を「JaLC・DOI・ORCID・CrossRef そして・・・」とし、今後、詳細をつめることとなった。

5. 「ジャパンリンクセンター正会員入会審査」について審議を行い、以下が承認された。

- ・ 日本原子力学会
会員区分は「E（非営利）」と決定された。

— 以 上 —